



日本語講師（非常勤）募集

【このような方を求めています】

一人一人の学習者を対等な存在として認め、共に成長しながら指導して下さる方を歓迎します。

現在、当校では「Google for Education」を活用した日本語教育・授業を行っております。

ICTに強い方、これから身につけたい方、どちらも歓迎です。

*クラス授業経験者が望ましいですが、未経験の方も一度ご相談ください。

以下の（１）（２）（３）（４）のいずれかの要件を満たす方が原則として対象となります。

- （１）学士以上で、420 単位時間以上の日本語教育に関する研修を受講し、これを修了した方
- （２）日本語教育能力検定試験に合格した方
- （３）大学の日本語教師養成課程（または日本語教育に関する主専攻または副専攻）を修了した方
- （４）登録日本語教員の方

【本校について】

留学生の生活と勉学を 60 年以上にわたりサポートしてきた公益財団法人アジア学生文化協会が 2014 年 4 月に開設した 2 つ目の学校です。マレーシア、台湾、中国、ミャンマー、タイ、香港、ベトナム、インドネシア、ウクライナ、トルコ、モンゴル、アメリカなど、様々な国の学生が集まり、学びの雰囲気にあふれています。

また、オンラインコース、短期コース受入れ、大学等の受託講座、教材開発などもあり、ご相談の上、担当していただく場合もあります。

3 ページ目に、大学院日本語教育研究科の学生の皆さんが、授業見学をした時のレポートの一部を掲載しています。よろしければ、ご覧ください。

↓↓↓↓↓↓↓↓ 募集内容については、次のページへ ↓↓↓↓↓↓↓↓

【募集内容】

募集人数：4～6名程度

勤務内容：日本語のクラス授業 2025年4月から週1～5日程度

(1) 午前クラス： 09:00～12:30 (45分×4コマ)

(2) 午後クラス： 13:30～17:00 (45分×4コマ)

当初、2025年9月までの契約（試用期間3か月）。更新の可能性あり。

待遇：1コマ（45分あたり）2,000円～ 経験、能力により加算あり

※授業未経験の方は1コマ（45分あたり）1,700円～

※補習や面接練習などを依頼する場合、別途、業務手当あり

※クラス担当（担任）や進学担当や就職担当等になった場合、各々担当手当あり

交通費：往復2,000円まで実費支給

応募方法：1月31日(金)までに、Googleフォームからご応募ください。

ただし随時選考を進めてまいりますので、決まり次第、応募を締め切ります。

応募 Google フォーム：<https://forms.gle/8LEDK4krBgYE8pkCA>



選考：第1次 応募 Google フォームへの回答（候補になった方へ履歴書等の提出を依頼します）

第2次 書類審査

第3次 教案、模擬授業、面接

研修：採用後、必要に応じてトレーニングを実施します。

【問い合わせ先】

学校名：学校法人 ABK 学館 ABK 学館日本語学校 ホームページ：<https://www.abk.ac.jp/>

住所：〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

最寄駅：都営三田線千石駅より徒歩3分、または、JR 山手線駒込駅・巣鴨駅より共に徒歩約15分

連絡先：TEL: 03-6912-0756 FAX: 03-6912-0757

E-mail：info@abk.ac.jp

担当：福島

【大学院日本語教育研究科の学生の皆さんが授業見学をした時のレポート】

決して、ここにあげられたような良いことだらけというわけではありません。

しかし、全体として、このような雰囲気が漂っている学校と捉えていただければ幸いです。

この学校をこれまで以上に学生にとって魅力ある学校にしたいという志を少しでもお持ちの方が、私たちの仲間となって共に前を向いて進んで行ってくれる方を歓迎します。

< 学校全体の印象 >

- ・学校内部も明るく、清潔感があって、心地よかった。（6月2日 Aさん）
- ・周囲も静かで環境的にも勉学に恵まれているなど感じました。（6月8日 Eさん）
- ・建物全体がバリアフリーになっているところも、様々な学習者に学ぶ機会を与えていくうえで大切なことだと思った。

校舎に入ると授業前に学生と教師が話していて、学生と教師の距離が近いと感じた。日頃の授業で信頼関係が築けている証だと思った。（6月9日 Oさん）

- ・学習者がとても活発に発言していて、明るく、真面目な学生が多かったように感じます。校舎も清潔で広く、開放感がありました。（6月15日 Uさん）

< 授業見学で気づいたこと >

- ・学生同士、特に異国間の生徒同士の繋がりが強いことは、授業での活動や学校全体の雰囲気作りに貢献していると考えられる。（6月2日 Aさん）

- ・国別に固まらず、分かれて座席が配置され、活発なグループワークが可能。

学習者が基本的学習態度を身に付けていること（授業に集中し授業中の携帯使用・私語がない。グループワークに積極的に関わる、休み時間にも日本語を使用している）

「学びたい」という視線の中で授業ができるというのは羨ましい限りである。（6月8日 Eさん）

- ・見学させていただいたクラスは、学生同士の仲が非常に良いように見受けられた。それぞれの個性を尊重し合っている感じがした。「一緒に学ぶ」という姿勢を持っている学生が多いように感じた。とても生き生きと学習に取り組んでいるように見受けられた。

全体を通して教師は常に「社会と自分(学習者)とを引きつける」ことを意識して授業を設計していたと思う。社会に存在する一人間として、学習者が考え、考えを日本語で発信していくようにする仕掛けが、授業にふんだんに盛り込まれていたように思う。（6月9日 Oさん）

- ・地域の人が定期的にクラスに入っているようで、学生も、ボランティアの人と話すことに慣れているようだった。学生は日本語を話す機会、日本人と話す機会が多くなり、教室外でも自信を持って日本語が話せるようになって感じた。学生のミニ作文を見せてもらったが、いろいろな内容で書かれていた。内容も自分にひきつけたものが多く面白かった。（6月12日 Fさん）

- ・クラスの雰囲気がとてもよく、明るく活発で、発言もたくさん出ていて、楽しい授業でした。授業中、学習者が寝たりスマートフォンをいじったりしないのはもちろん、きちんと授業に集中していたのは、授業そのものが面白く、また上手く注意をひきつけていたからだと思います。（6月15日 Uさん）

以上